

画面設計仕様 貸出

成田市立図書館

利用者貸出画面 表示が必要な情報

利用カード番号、利用区分、更新期限日、OPAC確認日時、貸出点数（資料区分（図書、雑誌、AV、録音図書、備品）別点数、相互貸借資料を含めること）、延滞点数（貸出点数のうち期限過ぎの点数）、予約点数（割当数/全予約数（在架予約数））

- ※利用者備考にデータがあるときはメッセージ画面があがる。メッセージの変更も可能。
- ※仮カードのときはメッセージ画面があがる。メッセージの変更も可能。もしくは画面上に表示でも可。
- ※割当資料、延滞資料があるときは、メッセージ画面があがる。
- ※OPAC確認日時とは利用者がMyページにログインした最終日時である。
- ※登録情報を1アクションで閲覧できる（名前、生年月日、CTI不可、予約棚不可、登録電話、メールアドレス、利用者備考、業務備考の閲覧が必要）。
- ※呼出時には、利用者名など個人情報は出さない。

貸出一覧（貸出中資料の一覧）

貸出画面表示事項

通番、資料番号、タイトル、貸出日、返却期限日、借受期限日、延長回数、貸出館（窓口）、次の予約の有無、形態区分、特別状況区分、延長[*回]、紛失[紛失日]、延滞[*日]、督促[*回]

- ※貸出一覧からは、全てまたは個別の資料を選んで貸出延長（ルールに沿った延長）、期限日変更が
- ※紛失とは弁償手続き中の状態のことで、弁償処理を行うと不明（事由：消失）になる。
- ※タイトルは、タイトル表示ルールに統一している。
- ※相互貸借資料のときはタイトルの前に「（相）」と表示する。
- ※館内展示コーナー用資料の展示状況を特別状況などで設定できる。その場合で閲覧規則が延長ができないなど変則的にしたとき（当館においては児童向けの課題図書など）を指定して一覧で分かる。

予約一覧（予約、予約割当の一覧）

予約一覧表示事項

通番、資料番号、予約順位、資料区分、タイトル、受取館、連絡方法、予約日時分（入力場所、在架予約可否か）、最新処理日時（割当日時は資料の予約情報出す）、最新処理館、予約割当順、状態、備考、予約通番

- ※入力場所：予約をどこから入れたかが分かるようにする（タッチOPAC、WebOPAC館内、WebOPAC館外、業務等）。
- ※在架予約：予約時に本館または公津の杜分館の在架しか資料がないときに在架予約とカウントして利用者あたりの件数を制限している。在架予約件数はパラメータ設定。
- ※予約の取消時には事由入力が必要。割当資料の取消はバーコードスキャンにより資料を特定して行うことができる。
- ※予約割当順の指定、変更画面がある。

※表示項目と注意点

資料番号	割当になると表示。割当前か割当済みかすぐわかる。
資料区分	図書、雑誌、AV（形態：CD、カセット、ビデオ、DVD）
タイトル	タイトル表示ルールに沿って表示。
予約日時	予約入力日時と予約受付日
受取館	受取希望館（窓口があるときは窓口を表示）
連絡方法	電話、メール、不要、ハガキ、FAX、携帯を表示。（電話1、電話2、メール1、メール2を表示）。CTIにセットされたときは「C：」、不在のときは再度セットされるか他の連絡方法でセットされるまで「不在：」と連絡方法の前に表示される。
状態	貸、在、注、無、口、相を表示。（表示の優先順位は、連>相>在>貸>口>注>無） ただし、相互協力事故、発注事故、不明、除籍があるローカルは優先順位の対象としない。 在架がなく全て貸出のときは「貸」 異動区分のたっていない在架資料が1冊でもあれば「在」 所蔵がなく事故でない発注があるときは「注」 所蔵、発注がないときは「無」

	「相」は相互協力依頼中のときで、在庫になったときは「在」、割当になったときは「貸」と表示
	「連」は連絡済みになった資料で、最新処理日時を更新させる。
	「口」は所蔵がなく、ローカル登録があるだけのとき。
予約順位	ex)「○番目」。予約待ち数でカウントする。割当で消える。割当済資料はカウントを表示しない。
予約待ち期限日	利用者が設定する受取りの期限日
取置期限日	受取館で予約資料を取置きする期限日
最新処理日時	資料を処理（スキャン）した最新日時。現在どこにいるかわかる。
最新処理館	資料を処理（スキャン）した最新の館。現在どこにいるかわかる。
OPAC	予約がどこから入ったかわかる。タッチ、web内、web外。
予約割当順	通番で表示で可（ex）2の次）。
予約通番	予約通番（ex）1225-0170または名寄せ）
予約備考	「留守電可」「家族伝言可」「揃い」は定型文で容易に入力できる。テキスト入力可。
予約連絡フラグ	予約連絡の対象とする意味のフラグ。このフラグが立っていないと連絡対象とされない。

ソート順は、割当済み連絡済み-割当済み-予約中-予約取消

ソート順（割当済み資料）

連絡済み資料の取置期限日昇順、その次に未連絡資料の最新処理日時昇順

ソート順（予約資料）

予約入力日時昇順

他館受取の資料も相互協力もすべて、割当ったら（受取希望館で返却されていなくても）割当としてソート順に従う。

ソート順（予約取消）

予約取消日時昇順

備考（入力メッセージ）

備考表示

仮カード、次回更新、カード保管中、長期延滞、住所不明、電話不明、二重登録、確認、備考（メッセージ入力）、OPAC確認日時

画面設計仕様 返却

成田市立図書館

返却画面

表示が必要な情報

通番、資料番号、タイトル、所蔵館、排架区分、備考、返却期限日、貸出累計、利用カード番号

※備考：不明、紛失[紛失日]、延滞資料[*日]、督促[*回]、予約確保[確保利用カード番号]、新着

※返却期限日は、期限日過ぎと予約割当のときだけ期限日を表示する。未貸出のときは「未貸出」と表示する。

※排架区分には、特別状況>排架区分の優先順位で閉架資料のときのみ「(書庫)」と表示する。

※利用カード番号は、画面展開しないと見えないこと。

ポップアップ表示 (Yキーを押さないと次の返却できない。Nなら返却取消などの機能がある)

予約割当 割当票印字

回送 他館受取の割当状態のときで回送票印字

資料備考あり

閉架

特別状況区分

貸出不可

相互貸借

付属資料あり

紛失

不明

除籍 除籍資料は返却できない

未排架

未登録

読取りエラー

画面設計仕様 検索-予約（業務） 画面展開の流れ

成田市立図書館

機能

資料に関するあらゆる検索窓口としたい。
検索から、予約、書誌修正、ローカル修正、発注（一括発注経由）、発注修正、評価点登録・修正、相互貸借処理に移行できる。

検索メニュー

キーワード検索（著者、出版者、件名では、典拠検索してから検索へ）
ジャンル検索（図書MRDF、音楽資料、映像資料、地域コード、郷土分類、雑誌）

画面構成の注意点

画面は、すべて横スクロールしないこと（提案するモニターで）。縦にもスクロールしないでページ遷移できることが望ましい。縦にスクロールする場合は、部分部分に背景色を変えるなど、ページ全体の中での位置を把握できるようにすること。

検索項目

すべて、タイトル、完全タイトル、内容・注記、曲名、原書名、完全著者、著者、作曲者、作詞・演奏者、完全出版者、出版者、巻号（年月日号）、出版年、完全件名、件名、独自件名、受賞名、書評掲載紙・日付、番号（コード）検索、請求記号、分類、郷土分類、地域コード、仮書誌・県立・付属・自館、公開フラグ、解決未解決、完成未完成

注）タイトルでは、内容細目のタイトル、音楽資料の曲名も検索対象であること。

検索結果一覧

別シート、検索予約_検索結果一覧参照
1書誌1行で表示し、通覧したときに、貸蔵予発を縦に通覧できること。

ローカル一覧のローカルの情報

別シート、検索予約_ローカル一覧参照

ローカルのソート順

画面設計仕様書 ローカルソート順参照

ローカル一覧の書誌情報

条件：表記、ヨミ、典拠コードの表示リンク、内容細目、曲名まで表示可能、ただし拡張方式であること。

表示書誌情報は、図書館と協議すること。

貸・蔵・予・keep（今度読みたい本）・典拠数、リンク（レファレンスの典拠資料）は出す。

総貸出回数・総予約件数を表示する。

利用者評価、職員評価を表示する。

ローカルデータのプリントアウトが番号指定で複数できる（範囲、バラ、指定しないときは、書誌だけ印刷可能）

予約一覧（入力画面）

別シート、検索予約_予約一覧参照

割当済と予約待ちは画面的にもすぐわかること

予約順位と割当変更、備考変更、予約受付日変更ができること

業務フロー

検索	キーワード入力、またはジャンル選択
検索結果一覧	キー1つの操作でキーワード入力した検索画面に戻れること
詳細画面	結果一覧（ヒットが1つのときは直接詳細画面）から書誌を選ぶと詳細画面へ（マウスではなく、キーボードだけで選べると加点点） 検索結果一覧にキー1つの操作で簡単に戻れること

書誌詳細画面	キーワードでヒットしたところがマーキングされていること。できない場合は容易にページ内検索できること。 MARCの書誌データがタグ順に見えているだけでもよい。 詳細画面にキー1つの操作で簡単に戻れること
予約入力画面	利用カード番号、予約受付日（注）、受取希望館、予約待ち期限日、連絡方法、番号（電話、メールアドレス）、備考（テキスト100-200字）、留守電可、家族伝言可を入力
予約一覧	通番、利用カード番号、予約受付日、受取希望館、予約入力日時、予約待ち期限日、予約備考、割当資料番号、返却館、割当日時、割当通番
	予約の並び順は、予約入力日時順になるが、予約順変更は順位変更をするだけで、予約入力日時は変更しないことができること
	割当解除は、割当変更か、割当解除のみの2つが選択できること 予約一覧の返却館、割当日時は、最初に割り当たった館、日時を保持すること。貸出予約画面での割当資料の最終処理館と最終処理日との差で資料の動向を把握できる。

（注）予約受付日（紙で未所蔵資料を受け取ったとき電算入力とタイムラグがあるので使用する。予約一覧、予約統計一覧（提供日数調査で使用する。）で出力する。）

画面設計仕様 検索-予約（業務）
検索結果一覧

成田市立図書館

ヘッダー

No	評価	資料	タイトル	著者名	出版者	出版年	請求	貸	蔵	予	発
----	----	----	------	-----	-----	-----	----	---	---	---	---

図書・AV

No	資料区分 (形態区分)	相互貸借が生きているときは”相：”と表示。900Aあるときは、”仮：”と表示。タイトル表示仕様	著者名	出版者	出版年	請求別置/請求	貸	蔵	予	発
----	----------------	---	-----	-----	-----	---------	---	---	---	---

雑誌マスター

No	雑誌	タイトル表示仕様	出版者	刊行頻	保存年限	排架区分
----	----	----------	-----	-----	------	------

雑誌巻号

No	巻号	相互貸借が生きているときは”相：”と表示。900Aあるときは、”仮：”と表示。タイトル表示仕様	出版者	排架区分	請求別置/請求	貸	蔵	予	発
----	----	---	-----	------	---------	---	---	---	---

レファレンス

No	レファ	質問（最後は半角スペースあけてぎりぎりまで出す。）	内容種別	更新日	NDC	解決	完成	公開
----	-----	---------------------------	------	-----	-----	----	----	----

パスファインダー

No	パス	タイトル（フル表示）：タイトル説明（ぎりぎりまで出して切る）	利用対象	更新日	NDC	空白	空白	完成	公開
----	----	--------------------------------	------	-----	-----	----	----	----	----

新聞記事

No	新聞	見出し（フル表示）、シリーズ（ぎりぎりまで出して切る）、添付資料（フル表	新聞紙	年月日	刊	完成	公開
----	----	--------------------------------------	-----	-----	---	----	----

成田のむかし

No	むかし	タイトル（フル表示）、巻号（必須）、シリーズ（ぎりぎりまで出して切る）、シリーズ巻号（必須）、副書名（フル表示）	空白	出版年	NDC	空白	資料種別	完成	公開
----	-----	--	----	-----	-----	----	------	----	----

デジタル化

No	デジタル	タイトル（フル表示）、巻号（必須）、シリーズ（ぎりぎりまで出して切る）、シリーズ巻号（ぎりぎりまで出して切る）、副書名（フル表	著者	出版者	出版年	NDC	空白	資料種別	完成	公開
----	------	---	----	-----	-----	-----	----	------	----	----

セル幅を制御したい。貸、蔵、予、発はヘッダーにつけて個々の書誌の部分には数字だけを出す。

資料区分（形態区分）：資料区分は1文字、形態区分は2文字でよい。ex) 図（複合）、A（CD）

貸：相互協力含む。予約割当含む。右詰で、所蔵なしのときは0

蔵：相互協力受入中含む（相互協力返却含まず）。右詰で複本数（内閉架数）で表示。0（0）と括弧は必ずつける。

予：予約中。相互協力予約含む

発：発注中で事故含まず。未発注含む。相互協力依頼中あるときは（）内に依頼数をカウントする。右詰で「0

（0）」と表示（事故含まず）

請求：ローカルあるときは最初のローカルの請求記号を出す（長い時の処理は要相談）。ローカルがないときは書誌の分類を出す。視聴覚資料のときも同様にする。

横スクロールはないようにすること。

バイト数

バイト数	項目	表示指示
4	No	通番表示
4	評価	評価点、4byte表示。

7	資料区分 (形態区分)	資料区分略称2byte分、“:” 1byte分、形態区分略称4byte分。ただし、カレントは「巻号」、レファDBは「レファ」、パスファインダーは「パス」、新聞記事は「新聞」、成田のむかしは「むかし」、電子情報は「リンク」、画像DBは「デジタル」と表記
	タイトル	相互貸借が生きているときは”相:”と表示。900Aあるときは、”仮:”と表示。タイトルは「成田市立図書館タイトル表示仕様書.xlsx」に従うこと。
16	著者名	8文字分表示して切る。
12	出版者	6文字分表示して切る。
7	出版年	データの頭から7byte分を表示。例) 2009.12
6	請求別置/ 請求	除籍、不明ではないローカルの一つめを取得別置1byte、請求5byte:別置がないときは半角スペース。ローカルデータがないときは、分類10版677D(なければ分類9版677C)を請求の部分に表示。例) 369.3、L123.5
2	貸	数字2桁分で2byte:ただし、1桁の冊数のときは、スペース1とし、一覧の上下で位置がずれないようにする。
6	歳	6byte:00(00):ただし、0のときは、スペース0(スペース0)とし、一覧の上下で位置がずれないようにする。
3	予	数字3桁分で3byte:ただし、1、2桁の点数のときは、スペースを左側からおいて、一覧の上下で位置がずれないようにする
5	発	5byte:00(0):ただし、0のときは、スペース0(0)とし、一覧の上下で位置がずれないようにする。

タイトルの幅は1行表示で無理のない範囲にすること。

画面設計仕様 検索-予約（業務）
 一覧

成田市立図書館

所蔵一覧

ハッタ	<空白>	<空白>	資料番号	館	排架	<空白>	<空白>	状況	資料	蔵書	形態	請求記号	最新処理日時	館	返却日時	1	2	3	4	5	累	受入日
データ内容	通番	ボタン※2	資料番号	所蔵館	排架区分 (短縮形)	開閉区分	特別状況 (短縮形)	資料状況※1 (返却期限日)	資料区分 (短縮形)	蔵書区分 (短縮形)	形態区分 (短縮形)	請求別置/請求記号	最新処理日時 (yyyy-mm-dd hh:mm)	最新処理館 (短縮形)	返却日時 (yyyy-mm-dd hh:mm)	貸1	貸2	貸3	貸4	貸5	貸累	yyyy-mm-dd

発注一覧

ハッタ	発注番号	受入館	発注日	発注先	状態	受入	価格	排架	<空白>	OPAC	貸	予	備考	督促日	回数
データ内容	発注番号	受入館	発注日	発注先 (略称)	状態	受入区分	価格	排架区分	開閉区分	OPAC表示 区分	貸出区分	予約禁止区分	発注備考	督促日	督促回数

相互貸借一覧

ハッタ	貸借ID	状況	依頼日	借受日	借受期限	最新処理	館	返却日	資料番号	資料	<空白>
データ内容	貸借ID	資料状況 ※1 (返却期限日)	依頼日 (yyyy-mm-dd)	借受日 (yyyy-mm-dd)	借受期限日 (yyyy-mm-dd)	最新処理日時 (yyyy-mm-dd hh:mm)	最新処理館	返却日	資料番号	資料区分	備考を表示

印刷用の通番について：

所蔵分は異動区分の有無にかかわらず通番を振り、印刷できること

相互貸借分は、所蔵分のカウント以降に+してカウントし、異動、返却の有無にかかわらず印刷できること。

※2

表示について

ウインドウの横スクロールはないようにすること。

※1：資料状況

相互協力の状態が貸出、割当のときは、貸出ヘリンク（カード番号は見せない）

所蔵資料の資料状況が貸出、割当のときは、貸出へのリンク（カード番号は見せない）

表示例

雑誌：貸出開始日[yyyy-mm-dd]

貸出中， yyyy-mm-dd (返却期限日)

割当中

相互貸借は以下も含む

依頼中

受入事故区分（略称）， yyyy-mm-dd (事故日)

画面設計仕様 検索-予約（業務）
予約一覧

成田市立図書館

No	利用カード番号	受付日[修正]	受	予約日時	取置期限	備考	予約連絡フラ	資料番号	館	割当日	割当通番
ex. 1	1090000000	2007/04/02 [修正]	三里	2007/04/03 17:23:30	07/04/12	[修正]		1012222222	本	2007/04/05	0106-015
ex. 2	1099000001	2007/04/05 [修正]	本館	2007/04/05 09:50:26		[修正]					

一段表示表示にする。（横スクロールなし）

割当中が一目でわかるようにする。現在は、予約割当は右に空欄がなくなることで分けている。

利用カード番号	利用カード番号
受付日	予約受付日 [修正]ボタン
受	受取希望館
予約日時	予約入力日時
取置期限	取置期限日
備考	予約備考
予約連絡フラグ	予約連絡の対象とする意味のフラグ。このフラグが立っていないと連絡対象とならない。
資料番号	割当資料番号
館	最初に割当になった返却館（最新処理館は貸出から確認する。）
割当日	割当日時（最初に返却割当になった日時をずっと表示。最新処理日時は貸出から確認する。）
割当通番	割当通番、名寄せの場合は「名」等表示

画面設計仕様 ローカルデータソート順

成田市立図書館

ローカル一覧画面でのローカル情報一覧の並び順についての考え方

ローカル一覧の並び順は、業務の効率化と利用者へのサービス向上につながる。並び順の目的は以下の通りである。

- ・館単位での利用頻度の把握をする。買い直しや複本管理のため
- ・館単位での在架貸出の確認をする。利用者サービスのため
- ・過去の図書館全体での購入、借用、発注の経歴（不明、除籍資料の一覧表示）を把握する。地域のニーズの把握のため。

・除籍、不明、修理は所蔵館に関係なく一覧の下に配置する。過去の記録を保存する。
以下にベストと考えられる並び順を挙げるが、上記の目的を把握して提案すること。

並び順

購入資料（下から上に上げていきます。）

- 除籍を一番最後に並べる（館順）。
- 次に不明を並べる（館順）。
- 次に紛失を並べる（館順）。
- 次に修理中を並べる（館順）。
- 次にローカル登録中を並べる（館順）。
- 次は、館順の中で、在架（開架-閉架の順）-貸出中の順で並べる。

発注中資料

- 発注日の古い順に並べる（館順）。
- 次に事故区分の事故日の新しい順に並べる。

相互貸借は、借受中-依頼中-履歴の順

イメージ

番号	館	場所	ありか
1	本館	開架	在庫
2	本館	開架	在庫
3	本館	書庫	在庫
4	本館	開架	貸出中
5	本館	書庫	貸出中
6	成田	開架	在庫
7	成田	開架	在庫
8	成田	開架	貸出中
9	三里塚	開架	在庫
10	三里塚	開架	貸出中
11	本館	開架	ローカル登録
12	本館	開架	ローカル登録
13	成田	開架	ローカル登録
14	下総	開架	ローカル登録
15	下総	開架	ローカル登録
16	大栄	開架	ローカル登録
17	本館	開架	修理中
18	本館	開架	紛失
19	本館	開架	不明
20	本館	書庫	除籍
21	本館	書庫	除籍
22	本館	書庫	除籍
23	本館	書庫	除籍

発注

番号	館	発注日	事故
1	本館	2011/10/10	
2	本館	2011/11/11	
3	成田	2011/12/10	
4	三里塚	2011/9/20	品切れ (2011/12/5)
5	本館	2011/10/20	品切れ (2011/11/5)
6	本館	2011/9/12	品切れ (2011/10/6)

相互協力

番号	館	状態
1	本館	借受中
2	本館	依頼中
3	本館	返却済み

画面設計仕様 成田のむかし

成田市立図書館

成田のむかしのコンセプト

成田のむかしは、地域の歴史を物語り調にまとめたもので冊子体を図書館で配布している。これをOPACを検索した言葉からヒットさせて、子どもたちの地域学習の支援、利用促進を図るものである。

画面の構成と、PDFファイルへのリンクについて

別紙の成田のむかしのPDFファイルを参照すると分かるように作者のイラストが印象的に使われておりこれをWeb上でもなるべく有効に利用するため、1段落当たり画像ファイルを表示できるようにする。例は、成田のむかし画像配置の例を参照のこと。

また、PDFファイルへのリンクをつけてダウンロードして、印刷すれば冊子体をつくることもできるようにする。PDFの例は、別紙、成田のむかしPDF例参照のこと。

成田市立図書館 Narita Public Library
ログイン

[ホーム](#) > [情報ポータル](#) > [検索結果一覧](#) > 成田のむかし

◆ 成田のむかし詳細
ハイライト OFF

学校ができるまで

祇園祭

田のしごと (春)

利根川

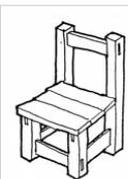
一覧に戻る
<< 最初
< 前へ
[1/16]
次へ >
最後 >>

PDF出力	
NSIN(書誌ID)	DO20101000020
タイトル	学校ができるまで [カッコウ カ デキル マデ]
シリーズ	成田のむかし [ナリタ ノ ムカシ], 2 [ニ]
著者	蛭田光城 [ヒルタ,ミツキ]
出版者	成田市立図書館 [ナリタ シリツ トショカン]
資料種別	パンフレット
出版年	1989年

解説	江戸時代は、寺子屋で読み書きそろばんを習う人もいました。明治になって、みんなが勉強するようにと学校の制度が出来ました。最初は寺や普通の家を借りて先生を頼んで始まり、だんだん建物も盛って来たのです。
----	--

目次	学校ができるまで 年寄りのお話 寺子屋 学校ができるまで 学校のはじめ **生徒** **授業料** **教科(書)**
----	--

■ 学校ができるまで



[目次へ](#)

■ 年寄りのお話



みなさんは、おじいさんやおばさんから、昔の学校のお話を聞いたことがありますか。
 > わたしが聞いた話とはこんな話です。
 > 「オッラアが学校は、常盤寺で四年までやったよ。五年からは高等科で、観音寺でやった。観音寺はおもしろかったぞ。上に墓場があって、その下は竹山だ。みんなて墓の石をころがすと、バチ、バチ、バチと竹がおっかけて、ゆかいだったなあ。
 > ふっだけっど、あとが悪いやな。『やったやつは、こっちへ来い。』でわけで、竹の根のむちで、コッソ、コッソだ。
 > ふっでも、みんなでおこられるんだから、おもしろかったなあ」。
 > では、昔の学校はどんなだったのでしょうか。いつもいたずらばかりして、叱られていたのでしょうか。

[目次へ](#)

■ 寺子屋



江戸時代、武士の子どもたちは、藩校というその土地の領主の開いている学校にいきました。しかしぶつうの人は、寺子屋といわれるところで勉強しました。場所はお寺やお屋がおもです。勉強の意味は、本を読むこと、字を書くこと、それに「そろばん」などでした。先生はお坊さんや神主さん、それに漁人や漢学者などもおりました。これらの人たちは「先生」と呼ばないで、「お師匠さん」といわれました。
 > この寺子屋へ行くものは、家にお金のある人たち、つまり地主や商人の子どもたちでした。なぜかという、お師匠さんへのお礼、つまり授業料みたいなものは、自分の家から出さなければなりません。貧しい家庭ではなかなかできないことだったのです。もう一つには子どもであっても、貧しい家庭では家の仕事を手伝わなければならないからです。
 > ですから、寺子屋へ行けない人は、読んだり、書いたりすることができませんでした。

[目次へ](#)

■ 学校ができるまで



勉強に行ける人と行けない人、本の読める人と読めない人、字の書ける人と書けない人。

- > 幼いときから、そのような区別ができてはいけないと、政府の人々は考えました。
- > そこで明治五年になりますと、「村の中に学問をまなばない家庭はなく、家庭の中には読み書きのできない人はないようにしたい。」というような意味の命令が出されました。
- > ですから村では、学校を建てたり、先生を頼まなければならぬことになりました。
- > しかし、どこの村にも、学校を建てたり、先生を頼んだりする程のお金はありませんでした。そこでお寺を利用したり、普通の家を借りたりして、きゅうばをしのぎました。

[目次へ](#)

■ 学校のはじめ



[目次へ](#)

■ **生徒**

さて、学校ができましたので、子どもたちが入学します。国のきまりでは、六才からの子どもです。しかし今まで学校がなかったものですから、十二、十三才の子どもも一緒に入学するというようなことがおこりました。

- > その外、気にかかるとは、どの学校も男子数に対して、女子は三分の一か四分の一程度ということでした。これは江戸時代から三従といって、女は「家では父に、嫁に行ったらは夫に、夫が死んだら子に従う」といわれていたからです。当時の女性は、男性より一段と低い位置にあったからです。

[目次へ](#)

■ **授業料**



明治六年から十年ごろの記録を調べてみました。飯岡学校では、一人二銭あるいは、四銭。又大室学校では、十銭、七銭、五銭、無料。これらは、生活の程度によって定められたようです。

- > このお金を納めるのがつらい家庭では、以前と同じように、寺子屋へ通わせる家庭もありました。お師匠さんへのお礼は、お盆と年の暮れに米とか妻や豆などを届ければよかったです。
- > そんなわけで、学校関係者は、学校へ行くことを、すすめて歩いたということです。

[目次へ](#)

■ **教科(書)**



教科書はそろっていませんでした。それに先生も少なく、一年生から三年生まで、一人の先生が受け持つということもありました。もちろん宿題などありません。

- > そのうち民間の会社で、教科書を作るようになり、政府もこれをすすめました。こうしているうちに、いろいろな教科書が出るようになりました。
- > そこで明治十九年からは、国で作った教科書も出るし、民間会社の教科書には検定がはじまりました。こうしているうちに、明治三十七年からは、国で作った教科書だけを使用することになりました。これは昭和二十三年ごろまで続きました。
- > 卒業式に歌われる「蛍の光」は明治十四年に、「仰げば尊し」は明治十七年に作られています。
- > 明治四十年になりますと、裁縫(家庭科)・唱歌(音楽)が教科の中に加わりました。そこで女の先生が誕生することになりました。
- > こうして、学校へ行く年数も、明治十三年には初等科三年、中等科三年となり、明治十九年には尋常小学校四年、高等小学校四年となりました。
- > その後、全国的に町村の合併がすすめられました。成田市の場合も、明治二十二年に六十四の村から七つの町村になりました。学校もだんだん統合されました。
- > こうして現在の学校のように近づきながら、昭和十六年に国民学校という名前になり、その後昭和二十二年に小学校、中学校となり、現在にいたっています。
- > 今からおよそ百年ほど前、西洋の文物がたくさん入ってきました。それらが、すばやく日本人に取り入れられたことは、一つには江戸時代から明治にかけて、一般に教育が広がっていたこと。もうひとつは、漢字に音と訓があって、その文物にふさわしい熟語が作られたこと。これらが大きく働いているといわれています。
- > 昔の人も学校でいたずらばかりしていたのではないのですね。

[目次へ](#)

郷土分類	382
地域コード	N
件名	教育-歴史 [キョウイク - レキシ] (510661710230000)
件名(成田)	成田市-学校-歴史 [ナリタ シ - カッコウ - レキシ]
公開日	2010/03/15
更新日	2013/02/10

成田市立図書館

パスファインダーのコンセプト

パスファインダーとは？

「利用者の特定の主題に関する情報収集を図書館で行う際の、最初のとっかかりとなる図書館資料のガイドもしくは要チェックリストのようなもの」（「パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践」2005による定義）

パスファインダーが開発された経緯

図書館員は同じような質問を頻繁に受けるが、すべての利用者にならでも同じ対応をすることは難しい。利用者の求める主題の知識を持つ図書館員が常にレファレンスデスクにいるわけではないことや、質問が集中したときとそうでないときでは同じ質問に対してかけられる時間が異なるなど、図書館員の主題知識の格差や物理的・時間的なことにかかわる問題がある。

パスファインダーの目的

パスファインダーは、図書館の情報資源を探索する際の起点「最初のとっかかり」であるため、文献の網羅的なガイドや書誌、リンク集、図書館資料受入のためのツールとは異なる。基本的なレファレンス検索手法の共有化を図ることを目的としている。

当初は、リーフレット（一枚もの）として提供されたが、現在では図書館資料と電子の情報資源を統合して提供する。

特徴として、「特定のトピックを扱う」「複数のページに渡って、網羅的な情報資源を満載しない」「コンパクトにまとめられた基本的な情報資源を掲載する」という点が挙げられ、Web上で閲覧するだけでなく、印刷しても1枚から2枚程度の分量にし、印刷して利用することを目的としている。

画面の構成と、PDFファイルへのリンクについて

パスファインダーは同じ内容のものを印刷物にして館内で配布している。

Webページを直接印刷するときに、必要な部分だけを印刷できるようにCSSをあてて整形したものを印刷できるようにする。別紙の印刷例を参照すること。

パスファインダWeb画面例

成田市立図書館 Narita Public Library ログイン

ホーム > 情報ポータル > 調べ方案内詳細

◆ 調べ方案内詳細 ハイライト OFF

前ページに戻る << 最初 < 前へ [1/1] 次へ > 最後 >>

内容を印刷する

NSIN(書誌ID) DP20131000030

■ 新聞記事の探し方 (パスファインダー)

新聞は、日々の出来事や時事問題を知るためのもので、過去の事件や事実を知りたいとき、社会的な問題を時系列に追ってゆく時など調べ物にも役立つ資料です。

■ 目次

1. 新聞記事の探し方
 - 成田市に関する新聞記事を探す
 - 千葉県に関する新聞記事を探す
 - 新聞紙単位で記事を探す
 - オンラインデータベース
 - 新聞縮刷版
 - マイクロフィルム
2. その他

■ 新聞記事の探し方

成田市や千葉県に関する記事を探す方法と、新聞紙単位で記事を探す方法があります。記事の採録は最終版からが多いので、以前に見た記事そのものは見つからないこともあります。

■ 成田市に関する新聞記事を探す

成田市立図書館は成田市関係新聞記事データベースを公開しています。成田市立図書館ホームページの情報ポータルでも検索できます。採録対象は、千葉日報が1957(昭和32)年から、朝日・毎日・読売が1954(昭和29)年から、千葉新聞が1954(昭和29)年から1956(昭和31)年までです。記事は原紙もしくはマイクロフィルムで所蔵していますので、本館2階の参考資料室で複写できます。(要実費)

千葉日報	1957(昭和32)年から
朝日・毎日・読売	1954(昭和29)年から
千葉新聞	1954(昭和29)年から 1956(昭和31)年まで

- 成田市関係新聞記事データベース https://www.library.city.narita.lg.jp/wo/news_srh

■ 千葉県に関する新聞記事を探す

千葉県立図書館は、千葉県関係新聞・雑誌記事索引を公開しています。収録対象は、千葉日報が1986(昭和61)年11月から現在まで、朝日・毎日・読売新聞が主に東葛地域版のみで1987(昭和62)年7月から1996(平成8)年3月まで、雑誌が1986(昭和61)年4月から1996(平成8)年3月までに発行された約4,000誌の13,241件です。

千葉日報	1986年11月から 現在まで
朝日・毎日・読売 (主に東葛地域のみ)	1987年7月から 1996年3月まで
収録対象の雑誌 (約4,000誌)	1986年4月から 1996年3月まで

- 千葉県関係新聞・雑誌記事索引 http://e-library.gprime.jp/lib_pref_chiba/wiki.view_file.form?file=%2F千葉県関係新聞・雑誌記事索引_最終確認日：2017/02/05

■ 新聞紙単位で記事を探す

オンラインデータベース、新聞縮刷版、CD-ROM、マイクロフィルムで探す方法があります。紹介している資料等は、いずれも参考資料室にありますので、室内でご利用ください。オンラインデータベース、CD-ROMのご利用には、図書館の利用カードが現住所を確認できるもの(運転免許証、学生証、健康保険証等)が必要です。所蔵状況は、成田市立図書館ホームページのメディア別一覧をご覧ください。

- メディア別一覧 http://www.library.city.narita.lg.jp/material_index.html

■ オンラインデータベース

成田市立図書館では次の4紙のデータベースを使えます。採録期間は、各新聞によって異なります。プリントアウトは決められた範囲内で可能ですが、お持ちの機器やカメラによる複製・撮影はできません。

- 日経テレコン21
日本経済新聞(地方経済面を含む)、日経産業新聞、日経流通新聞(MJ)、日経金融新聞の記事が検索できます。また、同社収集の人事・企業・マーケット・売れ筋商品の各情報を利用できます。
- 朝日新聞記事データベース「贈蔵(さくそう)2ビジュアル」
朝日新聞本紙(東京本社版 1945年から)、同紙地方版(千葉は1988年6月から)、AERA(アエラ)、週刊朝日(ニュース面のみ)、知恵蔵、人物データベースが検索できます。
- 毎日新聞データベース「毎索(まいさく)」
毎日新聞本紙の記事が1872年から検索できます。同紙地方版(千葉は1994年1月から)、週刊エコノミストなどの記事検索や世論調査結果のデータベースも提供しています。
- 読売新聞記事データベース「ヨミダス歴史館」

読売新聞全国版の記事が1874年から検索できます。同紙地域版（千葉は1998年10月から）、The Japan Newsの記事検索、関連記事も検索できる現代人名録も利用できます。

■ 新聞縮刷版

新聞縮刷版は、東京本社の最終版を1ヶ月ごとの冊子（千葉日報は、2004年4月以降CD-ROMまたはDVD-ROMで出しています）にまとめたものです。冊子の縮刷版には索引がついています。

■ マイクロフィルム

オンラインデータベースの収録期間より古い新聞の千葉版を探すときは、マイクロフィルムで探します。年月日の順に記録されています。

■ その他

過去の出来事や事件は、図書でも探せます。

- 『明治ニュース事典（第1巻～第8巻、総索引）』毎日コミュニケーションズ 1983～1986年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[txt\]=70800980000&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[txt]=70800980000&opr=and)）
 - 『大正ニュース事典（第1巻～第7巻、総索引）』毎日コミュニケーションズ 1986～1989年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[txt\]=70518540000&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[txt]=70518540000&opr=and)）
 - 『昭和ニュース事典（第1巻～第8巻、総索引）』毎日コミュニケーションズ 1990～1994年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[txt\]=70270280000&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[txt]=70270280000&opr=and)）
- 明治、大正、昭和の各ニュース事典は、収録年の主な記事を五十音順に掲載しています。各巻には五十音、分類別、年次別の索引が、総索引の巻には本文中の事項も取り上げた「事項索引」があります。参考資料室 書架：青11 から青12 にあります。
- 『「号外」明治史（全3巻）』大空社 1997年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[txt\]=70047460000&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[txt]=70047460000&opr=and)）
 - 『「号外」大正史（全1巻）』大空社 1997年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=isbn&joken\[txt\]=4-7568-0566-3&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=isbn&joken[txt]=4-7568-0566-3&opr=and)）
 - 『「号外」昭和史（全5巻）』大空社 1996～1997年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[txt\]=70044360000&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[txt]=70044360000&opr=and)）
 - 『「号外」戦後史（全3巻）』大空社 1995年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[txt\]=70041650000&opr=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[txt]=70041650000&opr=and)）

「号外」シリーズは、1868（明治元）年～1995（平成7）年に発行された全国の新聞の号外を収録したものです。号外は縮刷版に収録されな
いため、発行された当時に関心が高いと判断されたニュースがどんなものだったかを知ることができる貴重な資料です。参考資料室 書架：青
10にあります。

利用対象	一般
分類(NDC)	070(9)
公開日	2017/02/19
更新日	2017/12/07

NSIN(書誌ID) DP20131000030

■ 新聞記事の探し方（パスファインダー）

新聞は、日々の出来事や時事問題を知るためのもので、過去の事件や事実を知りたいとき、社会的な問題を時系列に追ってゆく時など調べ物にも役立つ資料です。

■ 新聞記事の探し方

成田市や千葉県に関する記事を探す方法と、新聞紙単位で記事を探す方法があります。記事の採録は最終版からが多いので、以前に見た記事そのものは見つからないこともあります。

■ 成田市に関する新聞記事を探す

成田市立図書館は成田市関係新聞記事データベースを公開しています。成田市立図書館ホームページの情報ポータルでも検索できます。採録対象は、千葉日報が1957（昭和32）年から、朝日・毎日・読売が1954（昭和29）年から、千葉新聞が1954（昭和29）年から1956（昭和31）年までです。記事は原紙もしくはマイクロフィルムで所蔵していますので、本館2階の参考資料室で複写できます。（要実費）

千葉日報	1957(昭和32)年から
朝日・毎日・読売	1954(昭和29)年から
千葉新聞	1954(昭和29)年から 1956(昭和31)年まで

- 成田市関係新聞記事データベース https://www.library.city.narita.lg.jp/wo/news_srh

■ 千葉県に関する新聞記事を探す

千葉県立図書館は、千葉県関係新聞・雑誌記事索引を公開しています。収録対象は、千葉日報が1986（昭和61）年11月から現在まで、朝日・毎日・読売新聞が主に東葛地域版のみで1987（昭和62）年7月から1996（平成8）年3月まで、雑誌が1986（昭和61）年4月から1996（平成8）年3月までに発行された約4,000誌の13,241件です。

千葉日報	1986年11月から 現在まで
朝日・毎日・読売 (主に東葛地域のみ)	1987年7月から 1996年3月まで
収録対象の雑誌 (約4,000誌)	1986年4月から 1996年3月まで

- 千葉県関係新聞・雑誌記事索引 http://e-library.gprime.jp/lib_pref_chiba/wiki.view_file.form?file=%2F千葉県関係新聞・雑誌記事索引 最終確認日：2017/02/05

■ 新聞紙単位で記事を探す

オンラインデータベース、新聞縮刷版、CD-ROM、マイクロフィルムで探す方法があります。紹介している資料等は、いずれも参考資料室にありますので、室内でご利用ください。オンラインデータベース、CD-ROMのご利用には、図書館の利用カードが現住所を確認できるもの（運転免許証、学生証、健康保険証等）が必要です。所蔵状況は、成田市立図書館ホームページのメディア別一覧をご覧ください。

- メディア別一覧 http://www.library.city.narita.lg.jp/material_index.html

■ オンラインデータベース

成田市立図書館では次の4紙のデータベースを使えます。採録期間は、各新聞によって異なります。プリントアウトは決められた範囲内で可能ですが、お持ちの機器やカメラによる複製・撮影はできません。

- 日経テレコン21
日本経済新聞（地方経済面を含む）、日経産業新聞、日経流通新聞(MJ)、日経金融新聞の記事が検索できます。また、同社収集の人事・企業・マーケット・売れ筋商品の各情報を利用できます。
- 朝日新聞記事データベース「聞蔵（きくぞう）2ビジュアル」
朝日新聞本紙（東京本社版 1945年から）、同紙地方面（千葉は1988年6月から）、AERA（アエラ）、週刊朝日（ニュース面のみ）、知恵蔵、人物データベースが検索できます。
- 毎日新聞データベース「毎素（まいそく）」
毎日新聞本紙の記事が1872年から検索できます。同紙地方面（千葉は1994年1月から）、週刊エコノミストなどの記事検索や世論調査結果のデータベースも提供しています。
- 読売新聞記事データベース「ヨミダス歴史館」
読売新聞全国版の記事が1874年から検索できます。同紙地域版（千葉は1998年10月から）、The Japan Newsの記事検索、関連記事も検索できる現代人名録も利用できます。

■ 新聞縮刷版

新聞縮刷版は、東京本社の最終版を1ヶ月ごとの冊子（千葉日報は、2004年4月以降CD-ROMまたはDVD-ROMで出しています）にまとめたものです。冊子の縮刷版には索引がついています。

■ マイクロフィルム

オンラインデータベースの収録期間より古い新聞の千葉版を探すときは、マイクロフィルムで探します。年月日の順に記録されています。

■ その他

過去の出来事や事件は、図書でも探せます。

- 『明治ニュース事典（第1巻～第8巻、総索引）』毎日コミュニケーションズ 1983～1986年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[\]\[text\]=70800980000&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[][text]=70800980000&joken[][opr]=and)）
- 『大正ニュース事典（第1巻～第7巻、総索引）』毎日コミュニケーションズ 1986～1989年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[\]\[text\]=70518540000&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[][text]=70518540000&joken[][opr]=and)）
- 『昭和ニュース事典（第1巻～第8巻、総索引）』毎日コミュニケーションズ 1990～1994年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[\]\[text\]=70270280000&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[][text]=70270280000&joken[][opr]=and)）

明治、大正、昭和の各ニュース事典は、収録年の主な記事を五十音順に掲載しています。各巻には五十音、分類別、年次別の索引が、総索引の巻には本文中の事項も取り上げた「事項索引」があります。参考資料室 書架：青11 から青12 にあります。

- 『「号外」明治史（全3巻）』大空社 1997年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[\]\[text\]=70047460000&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[][text]=70047460000&joken[][opr]=and)）
- 『「号外」大正史（全1巻）』大空社 1997年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=isbn&joken\[\]\[text\]=4-7568-0566-3&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=isbn&joken[][text]=4-7568-0566-3&joken[][opr]=and)）
- 『「号外」昭和史（全5巻）』大空社 1996～1997年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[\]\[text\]=70044360000&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[][text]=70044360000&joken[][opr]=and)）
- 『「号外」戦後史（全3巻）』大空社 1995年（[http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm\[sort_itm\]=year&srh_frm\[sort_seq\]=asc&joken\[\]\[item\]=tenkyo&joken\[\]\[text\]=70041650000&joken\[\]\[opr\]=and](http://www.library.city.narita.lg.jp/wo/opc_srh/srh_do?srh_frm[sort_itm]=year&srh_frm[sort_seq]=asc&joken[][item]=tenkyo&joken[][text]=70041650000&joken[][opr]=and)）

「号外」シリーズは、1868（明治元）年～1995（平成7）年に発行された全国の新聞の号外を収録したものです。号外は縮刷版に収録されないため、発行された当時に関心が高いと判断されたニュースがどんなものだったかを知ることができる貴重な資料です。参考資料室 書架：青10にあります。

利用対象	一般
分類(NDC)	070(9)
公開日	2017/02/19
更新日	2017/12/07

画面設計仕様 成田市関係新聞記事複写申込み

成田市立図書館

新聞記事複写申込みのコンセプト

成田市関連新聞記事データベースは、採用新聞紙が、千葉日報（全部）1954年以降、朝日新聞（地方版）1954年以降、毎日新聞（地方版）1954年以降、読売新聞（地方版）1954年以降で、1954（昭和29）年以降分で約16万7千件、うち公開可能が約3万9千件である。

成田市立図書館は、平成14年から16年の事業により成田市に関係する新聞記事の見出しのデータベース登録を開始し、その一部を抜粋する形で「成田市関係新聞記事目録1954－2003」を2005年3月に出版した。このデータベースの良さは、成田市関係に絞った記事を網羅的に、かつ分類コードなどからブラウズできる点である。商用データベースでは、このような検索はできない。独自にデータベースを構築、維持管理していくことで、重要性は増していくと思われる。

図書館として地域の歴史に関するデータベースとして蓄積を継続し公開を行っていく。検索をキーワードだけでなく、新聞紙名、刊行年、図書館が独自に付けている件名などから可能にする。また、情報ポータルから横断的に検索を可能にする。

この記事データベースは、当館所蔵のマイクロフィルムを根拠資料としているので、オンラインからの複写申込みを可能にする。複写申込みは、システム側で受取、その後の進行管理ができるようにする。

OPAC

新聞記事の詳細画面に、複写申込みのボタンがある。

申請入力画面

複写の手続きについての手続きの流れの記載がある。

オンライン申請→図書館より支払方法、複写資料の引き渡し方法について電話かメールでご連絡します。→代金の支払いをしてから複写資料を受取りとなり

利用登録者はカード番号パスワードで申込み申請できる。

利用登録者以外でも名前、名前ヨミ、電話番号、メールアドレスの記載で申請できる。

名前、名前ヨミ、電話番号は必須項目にできる。

受付完了画面

受付番号を発行する。

案内がある。

図書館へのお問い合わせの際には、この受付番号をお申し出ください。この画面を印刷または保存してください。

業務端末

抽出条件

受付ID、申請日、更新日、状態（すべて、未処理、作業中、事故、取消、処理済）

一覧表示

受付ID、申込日時分、データ更新日時分、利用者名、利用者名ヨミ、電話、メールアドレス、利用カード番号、OPAC区分、記事ID、見出し、状態、備考
状態は、初期値は未処理で、未処理、作業中、事故、取消、処理済へ個別または抽出されたものを一括で更新できる。

備考は、文字を記載できる。

処理済みにすると、利用者データが削除されて個人情報と結びつかないデータとなる。

抽出したリストはファイル出力できる。